

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月28日更新

事務事業名		指定ごみ袋販売事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名	上山 幸頭
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進			所属課	環境衛生課	担当者名	白濱 ひろ子
	基本事業	21	リサイクルの推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目	会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 10193	法令根拠	合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例 合志市収入証紙条例		成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成6年度にごみ袋が有料になってから開始した。合志市指定のごみ袋の製作、ごみ袋を売りさばき店に販売、販売手数料の支払いをする。人口の増加及びごみの分別の種類が増加したことに伴い、ごみ袋の製作枚数が増え、納入に係る時間が増加した。21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	ごみ袋の製作(業者選定、仕様書渡し、入札、契約、検査、納品、支払い)事務、在庫管理、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋受け渡し、売さばき手数料の支払い
【主な予算費目】	需用費、役務費
【意見や要望】	職員から保管場所を確保して欲しいとの要望がある。売りさばき店から合志庁舎以外でも販売して欲しいとの要望がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)		
在庫管理、ごみ袋製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡しを行い、売捌き手数料を支払った。ごみ袋販売枚数 可燃 1,912,550枚、資源 635,000枚、埋立 65,560枚、粗大ごみステッカー 2,522枚、ごみ袋収入 48,648,250円21年度より、指定ごみ袋納入事業と統合した。	ごみ袋製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡し、売捌き手数料の支払い、在庫管理。		
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 証紙買受枚数	枚	ごみ袋作成に伴う単価及び枚数の増による消耗品費の増	
→ イ ごみ袋受け渡し回数	回		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
ごみ袋売さばき店		→ ア 売捌き店の数	件
		→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
迅速、正確なごみ袋の受け渡しをする		→ ア ごみ袋販売に要する時間	時間
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
意図の迅速、正確なごみ袋の受け渡しをすることで事業の効率化が図られるため、成果指標を「ごみ袋販売に要する時間」とし、近年の実績を考慮し目標値を「1,500時間」と設定した。			全体計画
			~ 年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア 枚		2,430,408	2,575,330	2,727,274	2,615,632	2,719,500	2,713,000	2,706,000	2,699,000	
	イ 回		1,258	1,110	1,200	1,110	1,200	1,200	1,200	1,200	
	ア 件		130	128	130	110	115	115	115	115	
② 対象指標	イ										
	ア 時間		1,940	1,765	2,000	1,039	1,500	1,500	1,500	1,500	
③ 成果指標	イ										
	イ										
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円		2						
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	21,504	19,990	31,886	28,699	32,285	32,000	31,700	31,400
		(A)事業費計	千円	21,504	19,992	31,886	28,699	32,285	32,000	31,700	31,400
		(A)のうち指定経費	千円	0	9	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	7	7	8	7	8	8	8	8
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	1,940	260	2,000	1,039	1,500	1,500	1,500	1,500	
	(B)人件費計	千円	7,721	1,071	8,240	4,195	6,180	6,180	6,180	6,180	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	29,225	21,063	40,126	32,894	38,465	38,180	37,880	37,580	

事務事業名	指定ごみ袋販売事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 売りさばき店から電話での事前申し込みや、事前にごみ袋購入代金を受ける事で、ごみ袋販売に係る入金時間とごみ袋の搬出時間が短縮できることで目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事前に電話申し込みや事前入金があり若干の時間の短縮はできるが、システム上納付書作成に時間がかかっている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成21年度に、指定ごみ袋納入事業と統合した。他に事業との統合はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費はごみ袋の製作費と売りさばき手数料であり、ごみ袋の販売枚数は増えているので削減はできない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 売りさばき店がごみ袋を購入する際に、ごみ袋の搬出を協力してもらうことで削減の余地がある。ただし、売りさばき店の理解と協力が必要になる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ごみ袋売りさばき店は登録店であり公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ごみ袋(収入証紙)の販売は市の業務であるため、事務委託(再委託)することができない。

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成23年度は、ごみ袋製作事務、収入証紙買受申込書受付、納付書作成、ごみ袋の受け渡し、売捌き手数料を支払い、在庫管理を行った。平成23年度の販売枚数は、2,607,010枚で前年度より34,260枚増えた。内訳として、可燃ごみ袋大と資源ごみ袋極小が減り、他のごみ袋の枚数が増えた。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>ごみ袋料金改定を検討する時期にきている。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			△	低下			△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			△																		
	低下			△																		
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>ごみ袋の料金改定を行なう場合、審議会等の組織が必要である</p>																						